

富士通アイソテック ベースボールクラブ

FUJITSU

野球で福島を元気に！

講演 I 「FITベースボールクラブの設立と私の思い」

2月8日(土)14時から福島市のウエディングエルティにて、第12回労使研修会が行われました。
FITベースボールクラブの西牧代表から「FITベースボールクラブの設立と私の思い」について話されました。
講演では、クラブ設立のきっかけ、地域との共生、更に次世代の役割を担う人材を育成し、愛される会社、愛されるチームをつくっていききたい！と決意を述べました。



パワーポイントで詳しく説明する西牧代表

FITベースボールクラブの設立と私の思い 西牧正晴代表

<きっかけ>

一つ目は、東日本大震災後、福島県の小学生硬式少年野球チームはプレーヤーの大幅な減少という困難に直面しています。

二つ目は、社内の活性化、コミュニケーション向上です。隣の人やどんな仕事をどんなやり方でやっているか分からない。どんな問題や悩みを抱えているかも分からずに、声も掛けずに帰宅する、そんな人は職場にいませんか？

三つ目は、地域の活性化です。企業としての果たさなければならない役割というものがあるはず。ひとつでも多く地域との接点が必要です。

<Made in Japanへのこだわり>

我々は「Made in Japan」に拘った、ものづくりを行っている。製品を開発する者、ものづくりする者がすぐそばにいて、「Made in Japan」の製品が身近にあふれている。お客様の意見が直ぐに反映され、製品競争力も向上する。また、そんな環境があるからこそ、次の世代の技術者が育ち、匠のものづくりが継承されるのだと確信します。

<野球人の受け皿と、次世代育成>

経験豊富で有望な選手の受け皿が福島にはほとんど無く、企業が保有している社会人硬式野球チームは福島県内にはひとつもない。野球人の受け皿を増やすことで、地域に根づいて、次の世代の育成に繋がっていくと思う。

私は愛される会社、愛されるチームをつくっていききたい！
経営とは何か？一言で言えば「幸せにすること」その為、人づくりして、次の世代の中心な役割を担う人材を育成していくことにあります。

<最後に>

皆さん想像して下さい。
職場では信頼した仲間と囲まれ、責任ある仕事を任せられ、モチベーションが高い自分がいて、自身も会社も成長を実感している。会社に行くのが楽しい！
地域の皆さんは、ここにFITという会社があってくれてありがとう、と思ってきている。私はそれが誇りだ。以前よりも地域の活動に積極的になった自分がいて、この町に住んで良かった！私は経営者として想像した状態を目指して何かできないかと、いつも考えています。野球に拘る必要はありません。一緒に「良い会社」を作りましょう！

<運営組織表>

運営役職	氏名	所属先
代表	西牧 正晴	執行役員
サポーター(長)	岩淵 敦	代表取締役社長
事務局	事務局長	遠藤 賢次
	事務局長代理	渡辺 進
	会計	金澤 清貴
	広報	佐藤 健一郎
	広報	斎藤 豊
	機関紙担当	加藤 孝夫
軟式野球部OB会会長	寺内 茂男	ビジネス推進統括部
監督	宮木 明彦	ペリフェラルビジネス統括部
コーチ	渡部 正弘	FSAS
マネージャー	鈴木 孝弘	ペリフェラルビジネス統括部
マネージャー	村井 和久	ボリュームプロダクト統括部
マネージャー	塚本 健太	ボリュームプロダクト統括部
マネージャー	坂上 将太	(株)大崎
主将	小野 裕紀	ボリュームプロダクト統括部
副主将	河野 勝人	(株)大崎

2014年のFITベースボールクラブの新運営組織になります。
どうぞ宜しくお願いします。

<HP情報>

FITベースボールクラブのHPをリフレッシュしました。
今年のスケジュール等を閲覧出来ますのでご覧下さい。

